

感染症対策・



調査センター

だ よ り

2024(令和6)年8月1日

第 9 号

編集
発行

名古屋市保健所
感染症対策・調査センター

〒463-8585

名古屋市守山区桜坂四丁目207番地

電話 737-3712 FAX 736-1102

Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

当センター(業務課)の
ホームページはこちらから



手足口病・ヘルパンギーナについて

いわゆる夏風邪と呼ばれ、子どもを中心に主に夏に流行する、手足口病、ヘルパンギーナについてお話しします。両疾患とも口の中に水疱ができるのが特徴です。



	手足口病	ヘルパンギーナ
症 状	口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性の発疹ができます。熱は出てあまり高くないことがほとんどです。まれに髄膜炎などの合併症や爪の脱落が起こる症例も報告されています。	発熱に続き、喉の痛み、口の中に水疱ができます。水疱が破れると痛みを伴います。まれに心筋炎などの合併症を生じることがあります。
原 因	エンテロウイルス（コクサッキーウイルスA群など）	
感染経路	飛沫感染、接触感染、便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染する糞口感染	
好発年齢	5歳以下	
治療方法	有効なワクチンなど特別な治療方法はなく、対症療法のみです。口の中の水疱がつぶれて痛みを伴い、食べたがらないこともあるため、脱水には注意します。	
予防方法	接触感染を予防するため手洗いをしっかりとしましょう。 また、排泄物は適切に処理しましょう。 治った後も長期間ウイルスが排泄されるので気をつけましょう。	



これらの病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、子どもたち同士の生活距離が近く、衛生観念がまだ発達していないことから、施設内での感染の広がりを防ぐことは難しいです。



流水と石けんを使い、日頃からしっかりと**手洗い**をすることが**大切**です

ご存知ですか?!

蚊に刺されて感染する病気

気をつけてね!



「予防法」は蚊に刺されないこと

夏から秋にかけて、蚊に刺されることが多くなります。蚊に刺されるとかゆくなるだけではなく、蚊が運ぶウイルス等によって、デング熱などの病気にかかるおそれもあります。海外ではデング熱などが流行している地域があり、国内へウイルスが持ち込まれる可能性があるため注意が必要です。



蚊のいそうな場所で活動するときは、長袖・長ズボンなどで肌の露出を少なくし、虫除け剤を使用するとよいでしょう。



感染症名	潜伏期間・症状	主な流行地域	感染経路（媒介する蚊）
デング熱	潜伏期間：2～14日 主な症状：突然の発熱、頭痛、筋肉痛、関節痛、発疹など。まれに、重症化することがある。	東南アジア、南アジア、中南米など	デングウイルスもしくはチクングニアウイルスを保有する蚊（ヒトスジシマカなど）に刺されることで感染します。ヒトからヒトへの直接感染はありません。
チクングニア熱	潜伏期間：2～12日 主な症状：発熱、関節痛、発疹、頭痛、筋肉痛など	アフリカ、南アジア、東南アジア	デングウイルスもしくはチクングニアウイルスを保有する蚊（ヒトスジシマカなど）に刺されることで感染します。ヒトからヒトへの直接感染はありません。
ジカウイルス感染症	潜伏期間：2～12日 主な症状：軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛など	アフリカ、中南米、アジア太平洋地域	ジカウイルスを保有する蚊（ヒトスジシマカなど）に刺されることで感染します。輸血や性行為によって感染する場合もあるほか、母体から胎児への感染を起こすこともあります。



ヒトスジシマカ



センターからのお知らせ



新たな感染症の発生に備えて

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の五類に移行して1年が過ぎ、コロナ前の日常が戻ってきました。当センターでは、一類、二類感染症の発生時に患者移送を行っています。5月と6月に、患者の発生を想定して移送訓練を実施しました。防護服を着用して患者移送と車内消毒の手順と方法を確認し、改善点を洗い出しました。



開設!! YouTubeチャンネル ↑↑

感染症対策・調査センターのYouTubeチャンネルをご覧になりましたか？

4月に開設し、調査で捕獲したマダニの動画を順次載せています。今後、当センターならではの動画をアップしていく予定です。ご期待ください。



『感染症対策・調査センターだより』は、名古屋市公式ウェブサイトで創刊号からご覧いただけます。「感染症対策・調査センター」で検索していただくか、右のQRコードをご利用ください。

